

記 者 発 表 (資 料 配 布)				
月／日 (曜日)	担当課 担当名	TEL	発表者 (担当班長名)	その他の配布先
4／20 (木)	体育保健課 学校体育班	078-362-3787 (内線5776)	課長名 升川 清則 (織邊 剛)	なし

平成28年度兵庫県児童生徒体力・運動能力調査結果について

I 調査の概要

- 調査目的** 県下小・中・高等学校児童生徒の体力・運動能力の調査を行い、実態を把握することにより、指導の基礎資料を得る。
- 調査校数** 小学校162校、中学校92校、高等学校32校 計286校
- 調査人数** 小学校17,924名、中学校11,379名、高等学校6,599名 計35,902名
- 調査学年** 小学校1～6年生、中学校1～3年生、高等学校1～3年生
- 調査期間** 平成28年5月～7月
- 公 表** 平成29年4月下旬に兵庫県教育委員会体育保健課ホームページに掲載

II 結果の概要

- 本県児童生徒の体力・運動能力（平成28年度）と全国平均値（平成27年度）の比較（P3～P5）**
 - 本県平均値と全国平均値の有意差を求めた結果、男女ともに小学校の一部の学年を除き全国平均と「同程度」もしくは「上回る」項目が多かった。
 - 種目別にみると、50m走と持久走は、男女とも全校種で全国平均と「同程度」もしくは「上回る」項目となった。立ち幅とびは、男女ともほとんどの校種で全国平均と「同程度」の項目が多かった。しかし、反復横とびの小学生の女子、上体起こしの小学生・中学生の男女、握力の小学生の男女と中学生男子、高等学校女子において、昨年度に引き続き課題が残る結果となった。

【図表1】本県児童生徒の体力・運動能力（平成28年度）と全国平均値（平成27年度）の比較

区 分	性 別 測 定 項 目	男 子															女 子														
		校 種	小学校						中学校			高等学校			小学校						中学校			高等学校							
			学 年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3				
				年 齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
新 体 力 テ ス ト	握力	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	○	▼	▼						
	上体起こし	▼	▼	○	○	▼	○	▼	▼	○	◎	○	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	○	▼	○	○	○						
	長座体前屈	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	○							
	反復横とび	○	○	▼	○	▼	○	○	▼	○	◎	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	◎	○	○						
	持久走							◎	◎	◎	◎	◎	○							◎	◎	○	◎	○	○						
	20mシャトルラン	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○					
	50m走	○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○						
	立ち幅とび	▼	○	○	◎	○	○	○	○	○	▼	◎	○	○	▼	○	○	◎	○	○	◎	○	▼	○	○	○					
	ソフトボール投げ	▼	○	○	○	○	○							▼	▼	▼	○	○	○												
	ハンドボール投げ							○	▼	○	○	○	○																		
◎全国平均値より上回っている		0	0	0	1	1	0	2	1	2	6	3	1	0	0	0	1	0	0	3	1	1	2	1	0						
○全国平均値と同程度		2	4	4	5	3	6	5	3	4	3	6	7	1	2	2	3	5	4	4	7	3	7	5	7						
▼全国平均値を下回っている		6	4	4	2	4	2	2	5	3	0	0	1	7	6	6	4	3	4	2	1	5	0	3	2						

※上の表は1%有意差検定による。

(◎印は、本県が全国より上回っている。○印は、本県と全国が同程度。▼印は、本県が全国を下回っている。)

- 2 本県児童生徒の体力・運動能力（平成28年度）と昭和60年頃（昭和59～61年の全国平均値）との比較（P7）
兵庫県スポーツ推進計画の目標である、昭和60年頃の水準に達している項目数は増加し、目標達成にむけて達成率は年々上昇している。

【図表2】本県の記録が昭和60年頃に達した項目の割合

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H30年度目標
小学校	0%	0%	0%	16.7%	33.3%
中学校	12.5%	37.5%	37.5%	25.0%	62.5%
高等学校	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	50.0%
合計	9.1%	18.2%	22.7%	27.3%	50.0%

- ・水準を超えている項目（指標が100%以上）： 小学校男50mの1項目
中学校男・女50m走の2項目
高等学校男・女50m走、男子持久走の3項目
- ・ほぼ達している項目（指標が99%以上）： 中学校男・女持久走の2項目
- ・課題が見られる項目（指標が90%未満）： 小学校男子握力・投能力、全校種女子の投能力

【図表3】平成28年度兵庫県と昭和60年頃の各種目平均値比較

学年	性別	項 目	平均値				昭和60年頃を100とした指数(%)		
			S60年頃	H28	記録の差	(H27)	H28	(H27)	
小学校5年生	男	握 力	18.4kg	16.3kg	2.1kg ↓	16.2 kg	▼ 88.6	▼ 88.0	
		50m走	9.1秒	9.1秒	0.0秒	9.2 秒	100.0	98.9	
		ソフトボール投げ	29.4m	23.9m	5.5m ↓	23.7m	▼ 81.3	▼ 80.6	
	女	握 力	17.1kg	16.0kg	1.1kg ↓	15.8 kg	93.6	92.4	
		50m走	9.3秒	9.4秒	0.1秒 ↓	9.5 秒	98.9	97.8	
		ソフトボール投げ	17.4m	14.0m	3.4m ↓	14.2m	▼ 80.5	▼ 81.6	
中学校2年生	男	握 力	31.5kg	28.7kg	2.8kg ↓	29.1 kg	91.1	92.4	
		50m走	7.9秒	7.8秒	0.1秒 ↑	7.8 秒	101.3	101.3	
		持久走(1,500m)	371.3秒	372.3秒	1.0秒 ↓	369.3 秒	◎ 99.7	100.5	
		ハンドボール投げ	22.3m	20.6m	1.7m ↓	20.9m	92.4	93.7	
	女	握 力	25.3kg	24.1kg	1.2kg ↓	24.1 kg	95.3	95.3	
		50m走	8.6秒	8.6秒	0.0秒	8.6 秒	100.0	100.00	
		持久走(1,000m)	274.2秒	275.8秒	1.6秒 ↓	275.9 秒	◎ 99.4	◎ 99.4	
		ハンドボール投げ	15.4m	13.3m	2.1m ↓	13.4m	▼ 86.4	▼ 87.0	
高等学校2年生	男	握 力	44.0kg	40.2kg	3.8kg ↓	40.3 kg	91.4	91.6	
		50m走	7.3秒	7.1秒	0.2秒 ↑	7.2 秒	102.7	101.4	
		持久走(1,500m)	360.9秒	354.1秒	6.8秒 ↑	353.6 秒	101.9	102.0	
		ハンドボール投げ	27.8m	26.1m	1.7m ↓	26.3m	93.9	94.6	
	女	握 力	28.7kg	26.1kg	2.6kg ↓	26.3 kg	90.9	91.6	
		50m走	8.8秒	8.7秒	0.1秒 ↑	8.9 秒	101.1	98.9	
		持久走(1,000m)	291.4秒	295.3秒	3.9秒 ↓	292.8 秒	98.7	◎ 99.5	
		ハンドボール投げ	16.6m	13.9m	2.7m ↓	14.1m	▼ 83.7	▼ 84.9	
項目数		22項目	6項目		5項目				

※ は昭和60年頃の水準に達している項目（指標が100%以上）

※ 「◎」はほぼ達している項目（指標が99%以上）、「▼」は課題のある項目（指標90%未満）

3 各測定項目の4月生まれと3月生まれの比較(P8～P11)

生年月日をもとに、各学年の4月生まれと、3月生まれについて、体力テストの測定項目との相関関係を調査した。男子は長座体前屈と上体起こし以外の項目において、女子は中学校期終了までの長座体前屈・上体起こし・シャトルラン・持久走以外の項目において、3月生まれよりも、4月生まれの方が、高い平均値の結果となった。

4 本県児童生徒の体力・運動能力と生活習慣(P12～P14)

(1) 食事との関係

朝食摂取状況と体力・運動能力の総合得点平均値をみると、校種・学年で、「まったく食べない」児童生徒よりも、「毎日朝食を食べる」児童生徒の方が上回っている。

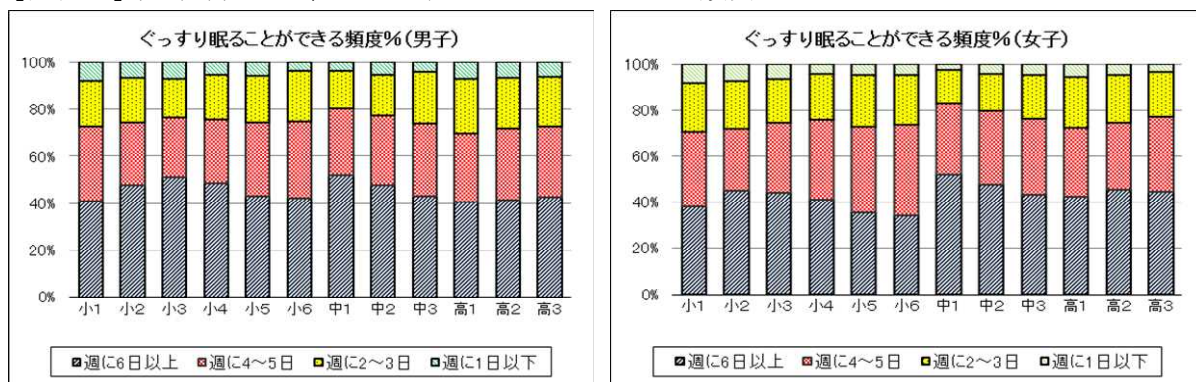
【図表4】 兵庫県児童生徒の朝食摂取状況と体力・運動能力の関係

総合得点平均値	小学校		中学校		高等学校	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
毎日朝食を食べる	46.1	46.5	41.9	49.6	56.2	52.3
まったく食べない児童	43.8	45.7	39.3	48.6	52.6	48.6
総合得点平均値の差	+2.3	+0.8	+2.6	+1.0	+3.6	+3.7

(2) 睡眠の状況

ぐっすり眠ることができる頻度について、「週に6日以上」と回答した「ぐっすり眠れている児童」の割合は、ほとんどの学年で平均50%以下であった。また、「週に1日以下」と回答した、「ぐっすり眠ることができていない児童」の割合は、校種・学年を問わず5%程度であった。

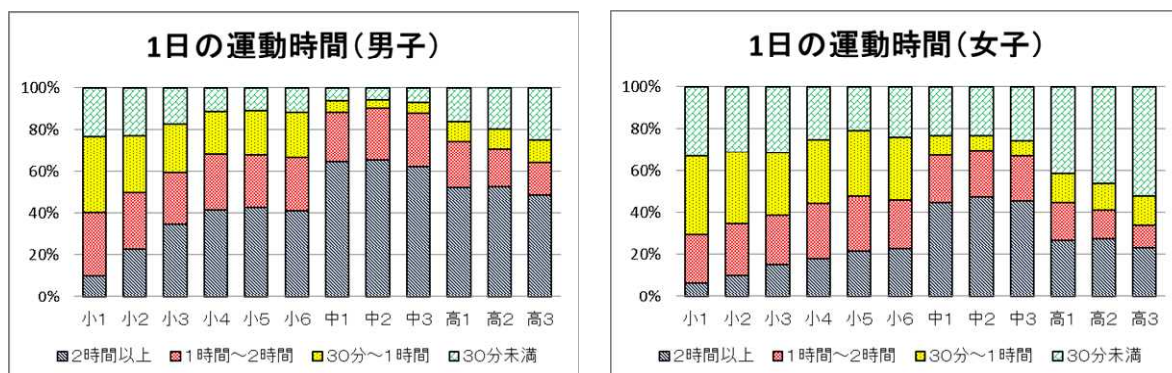
【図表5】 兵庫県児童生徒のぐっすり眠ることができる頻度



(3) 運動との関係

学校体育の授業を除く運動・スポーツの実施時間が1日1時間以上の割合の平均値は、小学校男子で59.4%(H27:57.5%)、女子で40.8%(H27:39.3%)、中学校男子88.8%(H27:88.0%)、女子で68.1%(H27:68.4%)、高等学校男子で70.2%(H27:71.4%)、女子で40.0%(H27:36.9%)となっており、ほとんどの校種で昨年度よりも増加しているものの、小学校と高等学校の女子においては低い値となっている。

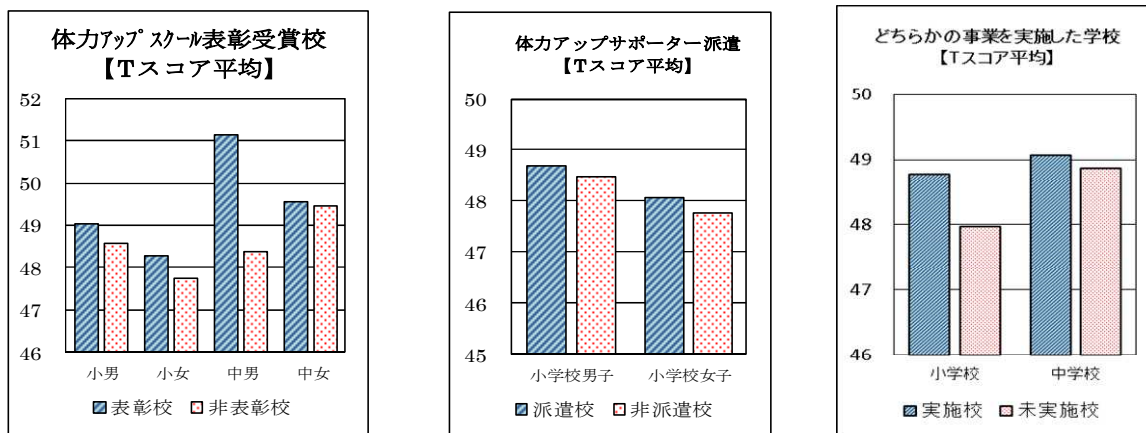
【図表6】 兵庫県児童生徒の1日の運動時間



5 調査結果からみた本県体力向上事業の結果 (P18～P19)

体力アップスクール表彰受賞校と非受賞校、体力アップサポーター派遣校と非派遣校、どちらかの事業を実施した学校とそうでない学校との比較では、全国平均値と標準偏差より求めた合計点のTスコアにおいて、受賞校、派遣校及び、事業実施校が高い値（ポイント）を示した。

【図表 7】本県の体力向上事業の結果



※ $Tスコア = (X - M) / S D \times 10 + 50$ 【個々の合計点 (X)、全国平均値 (M)、標準偏差 (SD)】

III 課題

- 1 投能力の向上
- 2 小学生の体力水準の向上
- 3 女子児童生徒の運動時間の増加
- 4 教員の専門的指導力の向上

IV 今後の取組

1 体育保健課ホームページの充実による情報発信の強化

(1) 動画による運動指導法の公開

小学校低学年を対象とした「ボールを投げるコツ」の指導方法の要点を系統的にとりまとめた「3分間で分かる小学校体育授業」の動画を配信

(2) 体力アップサポーターの指導方法

体力アップサポーターが実施した器械運動（跳び箱、マット等）、水泳（泳法等）などの「効果のあった指導」の動画を配信

(3) 「運動プログラム」(DVD) の活用促進

運動プログラムの必要な項目を授業中、その場で活用できるように、短く再編集した動画を配信

(4) 体力アップスクール表彰受賞校の活用実践例の周知

体力アップスクール表彰受賞校の体力向上に係る取組実践や、受賞校が活用した資料等を配信

2 「体力アップサポーター派遣事業」の活用

(1) 小学校に専門性に優れたサポーターを派遣し、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、運動習慣の定着を図り、小学生の体力向上につなげるために実施している、「体力アップサポーター派遣事業」を継続して実施する。

(2) 体力アップサポーターが実施する授業を、近隣学校に対象を拡大し教員研修の場（公開授業）として活用する。

3 研修会・講習会等を通じた、教員の指導力向上

(1) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業(県内5ブロックに分かれて開催)における実技講習や、幼稚園から高等学校までの教員を対象とした学校体育実技講習会を通して、教員の指導力及び実技能力を向上させ、体育授業等の充実を図る。

(2) 市町組合教育委員会学校体育担当者等連絡協議会などの機会に、体力アップスクール表彰受賞校の取組を紹介し、各市町において実践事例の積極的な普及を図る。